

京葉交差点角の宝くじ店に対する土地収用法の適用に関する再度の陳情

(建設委員会付託)

受理番号 第 16 号

受理年月日 令和元年7月10日

付託年月日 令和元年9月25日

陳情者
.

陳情原文 同趣旨の陳情は本陳情をもって4回目になります。前回陳情で情報提供いたしましたように、本件と類似の葛飾区本田広小路(国道と都道)立体工事の都市計画決定および完成時期は次のとおりであります。

戦災復興告示3号=昭和21年3月26日(京葉交差点も同年月日)水戸街道(放射13号線)都市計画決定、同工事着工=昭和42年11月、同工事完成=昭和45年3月。京葉交差点は本田広小路交差点と同一年に都市計画決定がされていながら、同工事完成の昭和45年3月から今日まで、既に49年間の遅れがあります。この間、産業の発展や物流に多大な悪影響を与えているほか、江戸川区の恥でもあります。具体的には、時間の浪費、ガソリン等の無駄、公害の発生、イライラなど精神的損失、何よりも地元発展に支障をきたしています。

前回陳情の建設委員会審議の要点は「私権の尊重」という難しい問題から、結論に至らず、審議未了として通知をいただきました。

「私権の尊重」については、憲法第十三条「個人の尊重と公共の福祉」に規定されています。条文では、「すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。」とあります。自治体の立法府として、私権の尊重をどこまで認めようというのでしょうか。本件の場合、「公共の福祉」との兼ね合いを審議してしかるべきで、後顧の憂いなきよう期待します。

元号も令和になり、日本国民こぞって希望に燃えた新しい幕開けとなりました。区議の皆さんも統一地方選挙により、令和時代にふさわしい気概を持って区政の番人として審議に臨んでいるものと思います。

このまま審議未了にしては次世代まで禍根を残すこととなります。是非とも採択していただき、われらの世代で解決することを期し、下記のとおり陳情いたします。

記

当該店舗に対する土地収用法の適用を採択することを求めます。